

令和5年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表: 令和6年3月29日 / アンケート期間: 令和5年2月5日～令和5年2月20日 / 回答者数(児童数)12名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	1 職員の配置人数や専門性は適切であると感じられますか。	12		
	2 日々の活動や支援のためのスペースは十分に確保されていると感じられますか。	11	1	
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの活動に合わせた環境になっていますか。	12		
	4 保育・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。	12		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
適切な 支援の 提供	5 お子さまと保護者さまのニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていますか。	12		
	6 個別支援計画に沿った支援が行われていると感じられますか。	12		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	12		
	8 保育所や幼稚園、他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等との連携した支援が行われる機会がありますか。	7	5	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
保護者 への 説明等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	12		
	10 日頃からお子さまの状況を保護者さまと伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	12		
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	12		
	12 行事の開催などを通じて保護者同士の交流・連携が支援されていますか。	10	2	
	13 お子さまや保護者さまとの意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	12		
	14 定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等のお知らせ情報が発信されていますか。	12		
15 個人情報の取り扱いに十分注意されていると感じられますか。	12			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
非常時 対応	16 防犯対策、感染症予防、非常災害時の対応方法について、保護者さまに周知・説明されていますか。	10	2	
	17 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	12		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ
満足 度	18 お子さまは通所を楽しみにしていると感じられます	11	1	
	19 事業所の支援に満足していますか。	12		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和5年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表: 令和6年3月29日 / 回答者数(職員数)6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 職員の配置人数は適切である。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容に合わせて必要に応じて奥のスペースを交代で使うようにして、安全に遊べるようにしている。 ・自由遊びで子供が遊ぶ場所は、子供の相性や遊びに使うスペースに配慮して設定している。 ・発達段階により2グループにわけ、活動やねらいによって環境を整えたり、配置を考えている ・自由あそびでは、子どもがじっくり遊べるように、パーテーションで区切るなどし、遊びを保障できるように配慮している。 ・発達段階によってグループ分けをし、レベルに合った活動ができるように考慮している。 ・パーテーションを使い、場面にあった環境設定をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の中間地点にある後から設置した壁やバッグ掛けが壊れかかっている点。すぐに直せない部分ではありませんが、より安全に使えるようにしたいです。 ・ブラレールの線路が、1袋では少し足りず、2袋目から借りることがある。 ・負担が偏り過ぎないように配置や環境構成を整えていく ・パーテーションや棚、リュック掛け等設備の老朽化が目立つようになってきたので本格的な見直しを検討したい。
	2 日々の活動や支援のためのスペースは十分に確保されている。	6			
	3 保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの活動に合わせた環境になっている。	6			
	4 保育・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	6			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・なにかやり方が変わった時は速やかに共有されていてすぐ全員で業務の進め方等が替えられている点に工夫があると思います。 職員会議でお子さんのケース会議に発展する機会が増えて、自身の考え方の広がりにつながると感じます。 ・職員全体に向けて、CYSの基本理念について啓発を図る研修を行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月に一度の職員会議でないとなかなか全員が顔を合わせる事が難しいので、業務改善を全員ですという機会を設定することが難しい場合もと思いました。 ・職員全体に業務改善の意識が定着しているかという点まだまだ不足していると思います。研修だけでなく、日頃の業務でももっと具体的な改善点を話し合っていきたいです。
	6 職員の資質の向上を行うために、定期的に研修を行なっている。	2	4		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・主活動のプログラムに関しては、立案時に前の月の内容を確認するようにしています。類似した内容になっていないか気をつけています。 ・非常勤なので情報が不足しがちかと思うので、不明点は常勤の先生に確認するようにしている。 ・日々の活動の中で、疑問点や振り返りを話し合うよう努め、独りよがりの支援にならないように気をつけている ・プログラムは子どもに応じて、設定を細かく変えるなど対応しています。それぞれのねらいを職員間で共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に共有の時間を全員で持つことが難しいと思います。 ・勤務終了時間がスタッフによって異なるため議事録を共有する工夫はしていますが、全員出席しての毎日の会議は難しく感じます。 ・活動の目的、内容を一覧にして明確にし、プログラムを組んでいる。日誌が端的で見やすく、わかりやすく、動きやすい。
	8 個別支援計画に沿った支援が行われている。	6			
	9 活動プログラムの立案をチームで行っている。	6			
	10 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6			
	11 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる活動プログラムや個別支援計画に反映している。	6			
	12 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	6			
	13 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	6			
	14 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	6			
	15 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	6			

関係機関連携	16	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	5	1	・関係機関連携に関しては保護者様から引き継ぎ書の作成のご依頼も増え、小学校との連携の機会が増えたように感じます。 ・療育センターや幼稚園等との情報共有は行っています。	・幼稚園や保育所に通いながら教室を利用されているお子さんが多いですが、私たちにとっては園での姿、園の先生方にとっては教室での姿が見えにくい点は課題かと思えます。 ・訪問というお互いにハードルが高いように感じられると思うのでもう少し気軽な顔が見える関係を作れる方法があったら感じます。 ・保育所等訪問支援の希望があるが、対応していないのでニーズに応えられていないと感じています。今後、早急に検討したいと思えます。
	17	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5	1		
	18	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	6			
	19	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、支援に活かしている。	5	1		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	20	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・連絡帳アプリで保護者様に写真を共有できるようになったので、撮影できた際には一枚でもご様子が見えるようにしています。コロナ禍でなかなか開催できなかった保護者会が今年度開催できた点は良かったと思えました。 ・保護者会を久々に開催することができ、日常の動画や取り組みのねらい等を話す機会がありました。クリスマス会等でも活動と同じ様子を見ていただくことができました。
	21	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解ができています。	6		
	22	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	6		
	23	行事の開催などを通じて保護者同士の交流・連携を支援している。	6		
	24	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	6		
	25	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等のお知らせ情報を発信している。	6		
	26	個人情報の取扱いに十分注意している。	6		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	27	防犯対策、感染症予防、非常災害時の対応方法について、職員間で共有し、保護者さまに周知・説明している。	6	・予め決めた方法で実際対応して見て難しく感じた点を変更して、その日のうちに議事録で共有している点が工夫されていると思います。実際、最近嘔吐があり対応してみてもスタッフの中には物品が高い位置にあって取れなかった、消毒液を作る専用のペットボトルが必要だったなど課題が明らかになりその日のうちに改善を図れたのが良かったです。 ・定期的な訓練を通して、起こりうる状況を想定し都度細かく話し合い意識するようになっている ・感染症が教室で流行した場合、保護者への周知、消毒等の流行防止に努めています。	・なかなか実際の避難を想定して抱っこで移動してみるなどの詳細な部分まで訓練してみるところまでたどり着くことができていないので、今後想定範囲を広げていきたい。 ・避難訓練の際の防災頭巾が小さく被れないお子さんがいるため、大きめのものを拡充する。 ・ヒヤリハットは毎日、記録に残し、職員間で共有しているが、定期的に集計、分析、検討できるようにしたいと思います。 ・非常時の対策で、災害伝言ダイヤルなどの訓練も増やしていきたいと思えます。
	28	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	6		
	29	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	6		
	30	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	6		
	31	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	5		

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) ・設備の老朽化がある。 ・職員の情報共有が図れていないと感じることがある。 ・他機関との連携強化を図りたい。 ・降園時の難しさがある。 ・避難訓練の内容検討が不足している。 ・ヒヤリハットの集計、振り返りの徹底	・徐々に改善の提案をしていく。 ・関係機関との連携強化を図りたい。 ・情報共有をさらに図るとともにわからないことを確認し合うようにする。 ・降園時のフィードバックを要点のみ伝える、子どもの帰り支度を計画的に行う。 ・避難訓練の内容検討、防災備品の再確認を行っていく。 ・ヒヤリハットの集計を行う。振り返り、検討を行う。